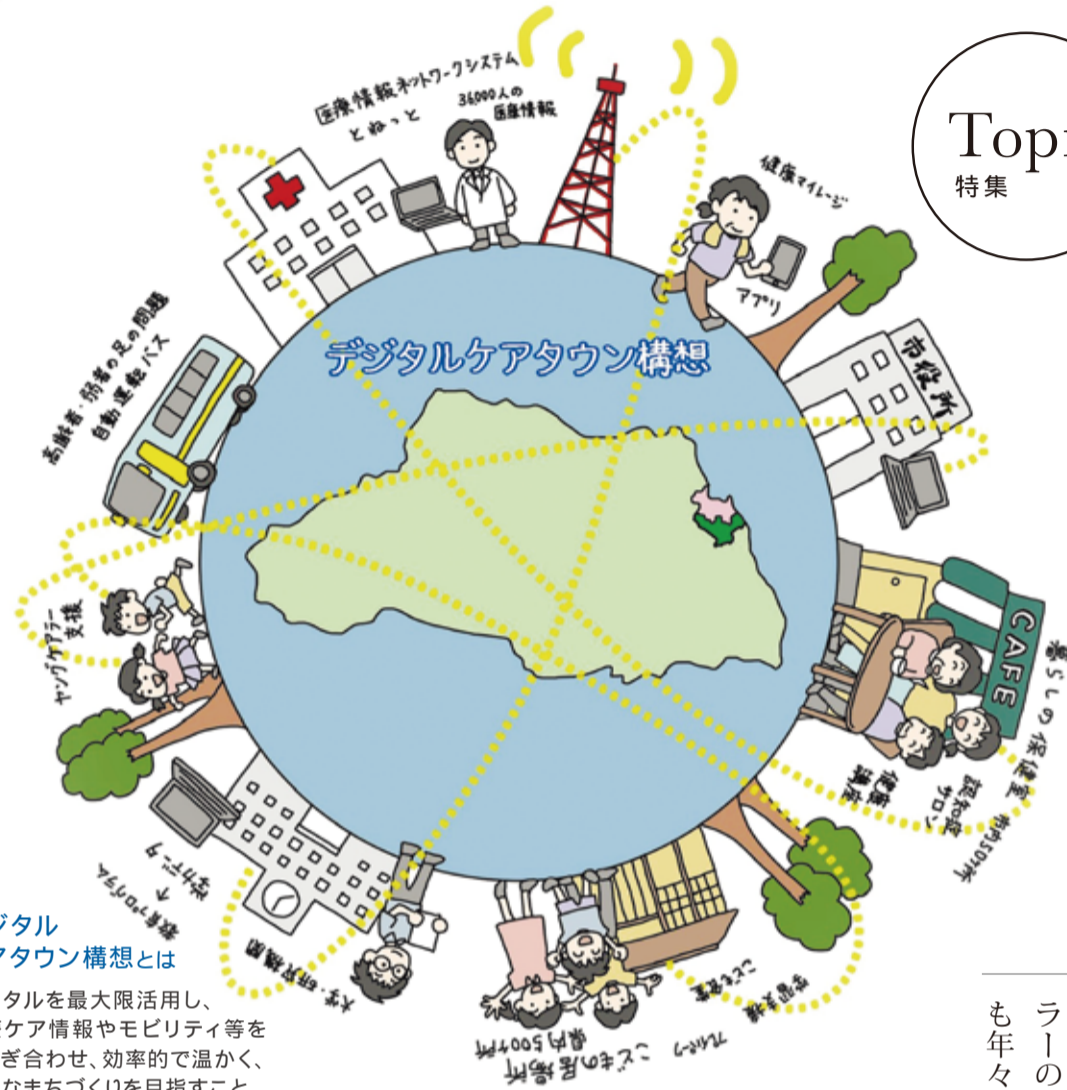


2023.04

本紙は、ケアラー（無償で介護や看護などをする人）に関する情報をわかりやすく発信する新聞。
世界的視野を持ち、進化を続けていきたいという意味を込めて、前号より「The Carer Times」に名称変更しました。



デジタルケアタウン構想とは

デジタルを最大限活用し、医療ケア情報やモビリティ等をつなぎ合わせ、効率的で温かく、安心なまちづくりを目指すこと。

令和5年度 埼玉県当初予算より ケアラー関連の項目のみ抜粋（青字:減額予算、赤字:増額予算）

分類	具体的な中身	R5当初予算額	R4当初予算額
ケアラー支援	ケアラー支援計画推進 (一部新規:次期ケアラー支援計画の策定)	521万1千円	41万9千円
	ケアラー支援普及啓発	494万0千円	688万9千円
	介護者サロンの設置・運営支援(新規)	312万7千円	0千円
	ケアラー支援人材育成 地域包括支援センター職員等に研修を実施	561万9千円	463万7千円
	ケアラー入院時等の要介護者受入施設の運営	1,976万5千円	3,332万5千円
医療的ケア児者とケアラーへの支援	医療的ケア児等支援センターの設置・運営 (一部新規:地域センターの複数設置)	3,444万5千円	349万4千円
	地域で暮らす障害児者とケアラーへの支援 レスパイトケア充実、相談支援センター整備	9,324万6千円	9,493万6千円
地域包括ケアシステム	地域包括ケアシステム深化・推進	7,455万3千円	448万4千円
	市町村総合相談支援体制構築	280万8千円	319万6千円
認知症施策	認知症ケア支援 認知症に関する知識の普及・啓発	2,426万9千円	2,373万9千円
	認知症ケア技術向上	111万0千円	162万6千円
	「チームオレンジ」構築支援 認知症の人と関係者をつなぐ仕組みの構築	663万9千円	668万3千円
ヤングケアラー支援	教育相談体制の充実 (一部拡充:スクールカウンセラーの配置)	11億 253万7千円	10億 458万5千円
	ヤングケアラーサポートクラスの実施 (一部新規:県立高校での独自プログラム)	558万2千円	292万5千円
	ヤングケアラー支援体制整備 コーディネーター設置、ハンドブック作成等	1,058万6千円	1,140万4千円
	ピアサポート等相談体制整備	601万0千円	701万2千円
	オンラインサロンの設置・運営等支援	374万0千円	349万6千円
	教育・福祉合同研修	60万0千円	60万0千円
	地域福祉活動者向け研修	258万5千円	258万5千円
	子育て世帯訪問支援 ヤングケアラーがいる家庭への家事・育児支援	4,129万2千円	891万0千円
	合計		14億 4,866万4千円

Topics 特集

みんながつながる “ケアのまち” (P5~7)

- 市民の居場所の視点から...元気スタンド・ぶりズム 小泉 圭司さん
- 地域医療の視点から...東埼玉総合病院 中野 智紀さん
- デジタルサービスの視点から...ケアエール 韓 承娥さん
- デジタルケアタウン構想...吉良 英敏

Index その他の記事

- P1 【埼玉県】令和5年度当初予算 ケアラー支援関連14億円超に
- P2-3 【インタビュー】「きょうだい弁護士」藤木 和子さん 「心配しないで、自分の人生を生きて」
- P4 【インタビュー】全国初!ヤングケアラー支援条例制定 「大丈夫、必ず救いますから」
- P8 ケアラー's リレーコラム:鈴木 洋介さん “働き盛りのケアラー”研究レポート

埼玉県 令和5年度当初予算 ケアラー支援関連14億円超に

埼玉県 令和5年度当初予算

埼玉県の令和5年度当初予算が発表され、ケアラー支援関連予算が14億円を超えることが分かりました(表)。前年度から約2億2千万円増額、新規事業数も5項目増えています。

埼玉県ケアラー支援条例の成立から4年、県でケアラー支援関連予算が付き始めて3年目となりました。普及・啓発が進み、ケアラーとりわけヤングケアラーの認知度は上昇、支援内容も年々拡充されています。

しかし、現場でケアラーの皆さんと話してみると「まだ支援を実感できない」という声を多数聞きます。それはなぜか。理由は多々あります。「行政はサービスを準備するばかりで、ケアラーの声を聴こうとしない」「難病や依存症の家族をもつケアラー等、ケアラーは多様なのに、支援内容が多様ではない」「医療従事者や教員等へのケアラー研修が行き届いていないため、理解者が足りない」「親亡き後問題を抱え

るきょうだい(障害のある人の兄弟姉妹)の不安が拭えない」等が挙げられます。ではこれらの多様な課題をどう解決するかというと、ケアラー支援専門の部署や拠点をつくれれば、細やかな支援ができるのではないのでしょうか。それが今今は、ケアラー一人ひとりの声をしっかりと聴いて、必要な支援が届くよう工夫しながら、予算を執行するべきです。

令和5年度予算には、新規で「次期ケアラー支援計画の策定」という予算が組まれています。実態調査や議論を重ね、ケアラーの皆さんが支援を実感できるように計画を練りたいと考えています。(文・吉良英敏)

